



馬込から気持ちのよい風が吹いてくる



萬福寺だより 第36号

2020年夏号 / no.36 / 令和2年7月1日発行

発行 / 曹洞宗 萬福寺護持会

HP <http://www.manpukuji.or.jp>

例年どおり「お盆」「お施餓鬼」行事を行います 猛暑の折 ご体調に気をつけてお越してください

萬福寺住職 安本 由道

世界中のすべての行事や各業種に多大な影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症の発生により、皆様におかれましては、大変なご苦労をなさっていることと推察申し上げます。政府は5月25日、緊急事態宣言の全面解除を了承しましたが、終息の先が見えないこの事態に、まだ不安を抱えている方は大勢いらっしゃると思われます。正しい答えが出るのは当分先かもしれません。

すでに葬儀、法事等は縮小や延期などで、感染拡大防止を第一に考え執り行っていますが、これからはお盆、お施餓鬼行事など檀信徒をお迎えする行事が続く時期となります。当山としましては例年同様、行事は執行いたしますが、本堂内での収容人数を制限し、長時間にわたる法話、供養は縮小させていただく予定です。

感染予防対策のうち、お寺側でもできるものとできないものがありますので、ご高齢の方や持病に不安がある方、健康に不安はなくても不快感を抱かれる方は、無理をしてお参加する必要はありません。想いを亡き人へたむけていただだけでも供養になりますので、法要、墓参りはご無理なくご参詣いただければ幸いに存じます。同封しましたご供養（塔婆供養）には、例年同様お申込みいただきたく、お願い申し上げる次第ではございますが、ご欠席等の場合は、お寺のほうで墓地へお塔婆を建てさせていただきます。まだ数週間先ではありますが、状況をみて判断させていただきたいと思っております。

時節柄ご自愛くださいますよう、心よりお祈り申し上げます。



行事予定

- 新盆法要 7月13日(月) 午後1時～
- 大施餓鬼会法要 7月23日(木・海の日) 午後2時～
- お盆行事 7月13日(月) 午後2時～
- 秋彼岸会法要 9月22日(火・秋分の日) 午後1時～



写真は昨年の様子（左から新盆法要、大施餓鬼会法要、秋彼岸会法要）

萬福寺の公式ホームページをご覧ください。

馬込萬福寺

検索

<http://www.manpukuji.or.jp>

萬福寺の行事はどなたでも参加できます。



三笑亭夢太郎師匠による落語会



養とともに新型コロナウイルスの一日も早い収束が祈願されました。

続いて安本由道ご住職を導師に法要が厳修され、ご先祖様への供

午後1時から、大田区観光PR特使で昨年もお出演いただいた三笑亭夢太郎師匠による落語会が開かれました。おなじみの「時そば」、趣味の義太夫を語り聞かせたい大家の旦那と、これを何とか断りたい奉公人や店子とのやり取りがおいしい「寝床」の2題が演じられました。

境内の桜もほころび始め、おだやかな日和となった3月20日、春の彼岸会法要が営まれました。「ご来山の際にはくれぐれも無理をなさらず、体調が悪い場合はご参加をお控えください」とお声かけをして、参列の皆様が密にならないよう席間を広げ、換気にも注意して挙行されました。

換気に注意し席間を広げて営みました

春彼岸会法要

令和2年3月20日（春分の日・金）

INFORMATION

萬福寺護持会 総会

委任状・書面表決により開催

本年度の萬福寺護持会総会は、集会を避けて6月8日に委任状と書面表決で行われ、前年度事業報告・同決算、新年度事業予定・同予算がそれぞれ原案どおり承認されました。山門内、正面階段左脇の掲示板の報告をご覧ください。

やすらぎの写経会

6月の開催は中止 次回は11月の予定

6月13日（土）に開催予定だった本年度第1回やすらぎの写経会は、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。次回は11月7日（土）開催予定です。なお、ご自宅で写経をされたい方に写経用紙を無料で配布しています。受付にお申し出ください。

御葬儀・法要の連絡は 萬福寺本堂総受付まで

法要は「追善法要」ともいい、故人が浄土で安楽であるようにと願いを込めて行うものです。年忌法要は葬儀とは違い予定が立てられます。できれば半年前、少なくとも3カ月前には準備を始めましょう。

御葬儀・法要・諸行事のお問い合わせ・お申し込み

萬福寺本堂総受付 ☎03-3771-2025

※梶原殿の会場使用につきましては、他社の葬儀社も利用できます。

編集後記

思いもかけぬ新型コロナウイルスの大流行で、日本のみならず世界中が大恐慌になっています。百年前のインフルエンザ「スペイン風邪」の経験から、第二波、第三波の大規模感染も心配されており、全国で集会や行事などが中止となりました。社会・経済の活動休止による生活への直撃を受けて、困っている方々も増えるばかりです。現在特効薬のない疫病そのものが恐ろしいことは当然ですが、これに対して私たちの出来ることは、手洗い・うがいの励行や人混みなるべく避けて自身の体力を維持することしかありません。

残念なことには私たちの政府は対応に出遅れました。政治の出来ることがもつとあるのではと思わずにはいられませんが、百年前に比べ、医学も衛生状況も進歩しています。人間の叡智を信じて一日一日を大切に生きていきましょう。